

# カオカ三景

六本松 箱崎 伊都



▷5◁

卒業生もよく来店する。一緒に通っていた男女が結婚して子供を連れて来たり、親子2代で通う学生もいる。卒業生から毎年送られてくる年賀状は、藤本さんの宝物だ。今年も遠くはイスラエルや米国から、40通以上が届いた。

「昔の学生は、故郷から受験に来た後輩

「いらっしゃい。もう大学始まったと？」  
 九大本松キャンパス近くにある食堂「ほろ酔」(福岡市中央区谷)。藤本ミヨコさん(72)は仕事始めの5日、席に着く学生に朗らかに声をかけた。カウンスターだけ8席の店内と藤本さんの笑顔は、開業した33年前から変わらない。

## 格安食堂、心も込めて33年

素臣さんの体調が悪くなった十数年前から、一人で店を切り盛りしてきた。一人暮らしの学生のために、年末年始と益、5月の連休を除いて毎日営業する。

10枚回数券を使えば380円。学内の食堂より安いくらい。「人間は食生活が基本。安い議論しよったね」と藤本さん。今はコンビ二弁当で一人の食事を済ませる学生も多



炊きたてのご飯をどんぶりによそう「ほろ酔」の藤本ミヨコさん

「六本松キャンパスがなくなるが一番寂しい。いつまで続けられるか分からんけど、みんなが応援してくれるけんね」。移転まで3カ月。迷いつつ、藤本さんは今年も学生のために温かいご飯を作り続ける。

【柳原美砂子】